

令和2年度 南九州大学特別公開講座

地域包括ケア学術シンポジウム

参加費無料
定員100名

多職種連携の意義と課題

～地域共生社会を目指して～



近年、「無縁社会」という用語に象徴される地域における孤立化が社会問題となっています。その背景には地域の関係性の希薄化や個人化という価値観の変容があります。「8050」に象徴されるような多問題家族、さらには、最近フィーチャーされる「ひきこもり問題」なども含めた総合的な支援体制の構築が求められています。平成29年2月7日厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定において「地域共生社会の実現に向けて」地域包括ケア(全世代対象型地域包括支援)を企図した各領域(子育て～障がい～高齢者・保健・医療・福祉・教育等)の連携・ネットワークの意義が示唆されました。

今回、各領域の専門職、実践家、研究者を招聘、シンポジウム形式にて多職種・多機関連携の意義と課題を議論します。

シンポジスト紹介



都城市福祉部長
黒木 千晶



社会福祉法人
スマイリングパーク理事長
山田 一久



熊本保健科学大学保健科
学部看護学科講師
村瀬 美香



障害者支援施設みどり園
施設入所支援課係長
藤木 美香

ファシリテーター 南九州大学 人間発達学部 教授 若宮 邦彦

日時

令和2年 11月7日 土

14:00～16:00

会場

南九州大学 都城キャンパス
3号館 3201教室

